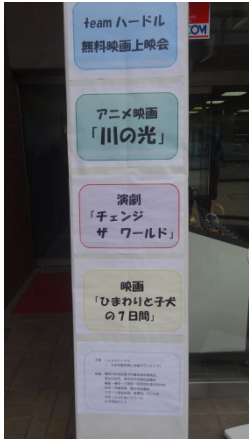


1371 樽町中学校演劇部 チェンジ・ザ・ワールドが開催されました。

・・・7月19日(土)港北公会堂で『いじめ撲滅』を見つめるテーマで演劇。岡田教育長も参観・・・

港北区のボランティアグループ『teamハードル』主催で開催された映画会のプログラムの一つとして横浜市立樽町中学校演劇部の皆さんによる『チェンジ・ザ・ワールド』を上演しました。

今年1月に当時の演劇部長が創作した脚本『カメラ』を演じて、第12回横浜市中学校創作演劇発表会南地区会場にて最優秀賞を受賞した力のある演劇部です。



プログラムの中に



公会堂入り口で受付



始まる前の会場の様子



樽町中学校の演劇部あいさつ



### 演劇内容

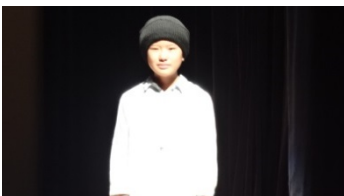
樽町中学校長村上校長のあいさつ



不治の病でクラスメイトが入院している事を知る。



さまざまな揺れ動く心の中で見舞いに訪れ、二人は意気投合していく。



心を通わせていく二人だが、願い空しく病気の友は、亡くなってしまう。



かつての仲間たちに、弱い者いじめをやめようと促すが・・・。



中学生の心の動揺・揺さぶられる様子がリアルに観客に訴えかける。



開演にあたり、横浜市教育委員会 教育長 岡田 優子氏が港北公会堂を訪れ鑑賞された。終了後、舞台上で生徒たちをねぎらい、『参観者の一人として皆さんの演技・内容に目が潤む場面がいくつもありました。みなさんの演劇は私の期待と想像を超える素晴らしい演劇でした。ありがとうございました。』と感想を述べられました。

会場から大きな拍手が演劇部の生徒さんにおくられていました。